

2015年3月4日

新宿区長 へ

法人名 NPO 法人 ACT ART COM 実行委員会  
 所在地 新宿区大京町 12-9  
 (フリガナ) シタ ユズル  
 代表者氏名 理事長 式田 譲

## 事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。  
 記

### 1 助成対象事業

事業名	Art & Design Fair (アートフェア)、ACT アート 大賞展
実施日時又は期間	アートフェア 2014年6月17日～6月22日 ACTアート大賞展 2015年 1月6日～1月10日
対象者の範囲及び人数	主に現代アートを制作している区民、全国のアーティスト イベント来場者は主に地域住民、アート関係者
事業内容	アーティスト育成支援事業を目的に下記の2事業を実施 ・アートフェア 2014年6月17日～6月22日 現在、新宿区では、若手アーティストを対象としたアートフェアはない為、アートコンプレックスセンター全館を使い、アーティストの作品発表と販売の場を提供する。地域の方々や企業の方々との交流を深め、多くの才能あるアーティスト達を世の中に広く紹介することを目的とする。 ・ACTアート大賞展 2015年 1月6日～1月10日 美術大学の教授や著名な美術作家・アート関係者等、第三者の方による審査、講評をしていただく機会を作ることによって若いアーティストの育成を促す。
具体的な活動状況	・アートフェア：2014年6月17日～22日まで、約110名の出展者の皆様が作品の展示・販売を行い、来場者数は約2,000名。会期中は、15名のボランティアの皆様によって運営を行った。 若手のアーティストに発表の場を設けることを主な事業目的としており、フェアを通してたくさんのお客様に作品を見ていただくことが出来、交流を深めた。今回はイベントの中で親子対象のワークショップを開催したことで、より幅の広い年齢層でアートを楽しむことが出来た。 ・ACTアート大賞展：通常展示の難しい大型サイズの絵画作品を100点以上展示し、審査する機会。最優秀賞に選ばれた作家は賞を受け、更なる美術追求を目的にサポートを受けることが出来る。

	<p>作品は地域の学生から全国まで、美術を志す若い作家から出品され、審査委員には美術大学の教授を迎え、普段講評を聞くことの出来ない評価を受けることが出来る。本展を通じ、全国の若手作家たちは大きな刺激となり、今後の美術に対する育成の場になることを目指している。出展者数は120名、150点、来場者数は約500名であった。</p> <p>「審査員」 神林章夫様（財団法人神林留学生奨学会理事長） 丸山浩司様（多摩美術大学教授） 丹伸巨様（アートディレクター） 車洋二様（アートディレクター・kurumaartcontemporary 主宰） O J U N様（東京藝術大学准教授）</p>
<p>事業の成果</p>	<p>アートフェア：イベントを通して、アーティスト（主に若手）・来場者・企業の方々が直接交流を持つことが出来たので、来場者（地域の方々）のアートに対する親近感や若手作家の意欲も高まったと感じた。ワークショップにおいても講師（アーティスト）の方と直接触れ合えてモールアートを体験することが出来、楽しかったとのご意見を多く参加者から頂き、全体を通してより活気のあるイベントを開催出来たことが成果としてあげられる。</p> <p>A C Tアート大賞展：大賞を受賞したアーティストの言葉を頂戴した。</p> <p>自分の作品が初めて賞として認められたことにより、周りや家族から祝福を受けたことで大きな自信に繋がり、今後の活動の意欲になったとのことだった。この事業が若手のアーティスト支援に役立っていることを実感出来た。</p>

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収 入	経 費	積算根拠（内訳）		金 額
	団体負担金			44,246 円
	参加費・資料代等	アートフェア出展費 43,200 円×25 名=1,080,000 円 21,600 円×25 名=540,000 円 グループ出展（1 団体）=200,000 円 1,000 円×23 人（ワークショップ参加費）=23,000 円		1,843,000 円
	その他の収入	出展者作品売上の販売手数料（販売価格の 20%） 1,148,305 円×0.2=229,661 円		229,661 円
	協働推進基金助成金	助成金交付額		50 万円
	計			2,616,907 円
	支 出 （ 助 成 の 対 象 に な る 事 業 費 の 内 訳	費 目	決算額	内 訳
会議費		999,800 円	アートコンプレックスセンター会場使用料（アートフェア） 2 階 499,800 円 地下 500,000 円	
宣伝費		294,800 円	ACT アート大賞展広告掲載費 216,000 円 アートフェアカタログ 78,800 円 300 部	
リース費		0 円		
消耗品費		53,957 円	種類が多いため下記に記入しました。	
謝礼		150,000 円	アートフェアボランティア謝礼 3,000 円×延べ 30 名=90,000 円(内訳別紙参照) アートフェアワークショップ講師謝礼 10,000 円 ACT アート大賞展審査員謝礼 10,000 円×5 人=50,000 円	
人件費		124,000 円	4,000 円×延べ 31 名=124,000 円（アートフェア・ 内訳別紙参照）	
材料費		9,060 円	アートフェアワークショップ材料費 モール 200 本入り 302 円×30 個=9,060 円	
交通費		0 円		

	その他諸経費	563,060 円	【アートフェア】 82 円切手 82 円×30 枚=2,460 円・印紙 200 円 ×10 枚=2,000 円・会場設営費 540,000 円・ゴミ処 理券 3,100 円×6 冊=18,600 円
助成対象事業費 (小計)		2,194,677 円	
余 剰 金		0 円	
	助成対象外事業費	422,230 円	【アートフェア】 ボランティア・スタッフ弁当代 計 36,896 円 レプションパーティー費用 計 116,540 円 電球 18,780 円 ワークショップ用椅子 17,014 円 人件費 (1 日 1 人 4,000 円を超える分) 93,000 円 【大賞展】 ACT 大賞展賞金 100,000 円 ACT 大賞展審査員食事代 (ACT カフェ) 10,000 円 リース代 30,000 円
事 業 総 額			2,616,907 円

#### 消耗品詳細 (合計 53,957 円)

##### 【アートフェア】

「ASKUL で注文」合計 31,657 円

- ① 巻き段ボール 1,877 円×1 個=1,877 円・②A4 コピー用紙 1,320 円×2 冊=2,640 円・  
③インク 3,785 円+4,320 円 計 2 パック=8,105 円・④養生テープ 1,245 円×3 セット  
=3,735 円・⑤A3 光沢紙 897 円×3 冊=2,691 円・⑥布テープ 921 円×2 セット=1,842 円  
⑦雑巾 298 円×1 パック=298 円・⑧ハンドソープ 198 円×4 個=792 円・⑨A4 プリンタラベ  
ル 3,140 円× 1 冊=3,140 円・⑩ナプキン 205 円×1 袋=205 円・⑪おしぼり 245 円× 1 袋  
=245 円・⑫M サイズ丸抜きポリ袋 338 円× 2 パック=676 円・⑬S サイズ丸抜きポリ袋 306  
円×5 パック=1,530 円・⑭トイレットペーパー 306 円×6 個=1,836 円・⑮マスクングテープ  
353 円×1 個=353 円・⑯手提げ袋 975 円×1 パック=975 円・⑰ボールペン 717 円×1 箱  
=717 円

「その他各店舗で購入」

- ⑱インク 928 円+954 円+992 円+997 円+1,050 円×4 計 8 個 合計 8,071 円  
⑲長 4 封筒 108 円×1 袋=108 円、ふせん 108 円×1 袋=108 円、ビニールケース 108 円  
×2 個=216 円 合計 432 円  
⑳蚊取線香皿 298 円×1 個、蚊取線香 398 円×1 個 合計 696 円  
㉑アルコールスプレー 198 円×1 個=198 円、アルミホイール 58 円×1 個=58 円、ネットスポ  
ンジ 98 円×1 パック=98 円、レジ袋 3 円×1 枚=3 円、ふきん 158 円×1 個=158 円、食器  
用洗剤 78 円×1 個=78 円 合計 593 円  
㉒ナプキン 144 円×3 個=432 円・紙皿 185 円×5 個=925 円・パーティープレート 380 円×7  
個=2,660 円 消費税 321 円 合計 4,338 円

「プリントパックで注文」㉓「館内見取り図印刷費」A3 両面モノクロ 700 部 8,170 円

### 3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	<p>アートフェア：アーティストと来場者の交流はとても活気があった。自分の作品に興味のある方々に直接会うことで、若手アーティストの意欲も高まっていた様子だった。また、ワークショップがとても好評だった。参加者同士、親子間、講師（アーティスト）のコミュニケーションがとても良くとれていた。アーティスト達を世の中に広く紹介するという目的は今回も達成出来たと思う。</p> <p>アート大賞展：出展したアーティストの作品がとても良く、受賞者を選ぶ審査もとても活気があった。アーティストがより良い評価を受けることにも繋がった。</p>
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	<p>昨年に引き続き、区役所担当者様ご協力の元、周辺各施設にチラシを置いて頂いた。イベントの認知度が地域に広がることで、アートに対する親しみを今後もより深くして頂けたらと考えている。</p>
費用対効果は適正であったか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金を受けたことで、引き続き広告やポスター、館内見取り図を作ることが出来たことが、出展者の増加や出展作品自体の質の向上に繋がったと考える。</li> <li>・アートフェアのカタログは一人一人のアーティストを紹介する内容なので、来場者の方々により多くのアーティストを知って頂けたのではと考える。</li> </ul>
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	<p>「アートフェア」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アートコンプレックスセンターという施設内で2階(5部屋)と地下に分かれて展示を行っている。どうしても人が集まる部屋と人が集まりにくい部屋と別れてしまう傾向が見られた。まんべんなくアーティストと来場者が触れ合えるように作家の配置を考えるべきだった。</li> </ul> <p>「アート大賞展」</p> <p>授賞式はアーティストの喜びに直接触れることが出来るいい機会なので、地域の方々にも呼びかけて、来場してもらえたらいいのではと感じた。</p>
理解者や支援者が広がったか。	<p>町内会の方々とは昨年に引き続き、掲示板にポスターを貼らせて頂き、気軽に交流出来るようになった。地域のカレー屋さんがNPOのサポーターになって下さった。今回のイベントのお弁当を買ったり、交流を持つことが出来た。</p>

	<p>ボランティアの方々もイベントを楽しんで下さり、イベント終了後もボランティアとして手伝って下さる方がいて感激だった。</p>
<p>事務局の執行体制は十分だったか。</p>	<p>ボランティアの事前説明会を開いたことで、スタッフとボランティアの連携がスムーズにいて、イベントの流れも良かった。</p>
<p>今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやチラシに ACT サポーター募集という形で活動をサポートして下さる方々（入会者）を募った。</li> <li>・イベントの広告宣伝も良質な広告会社を選び、イベントがより一層周知されるよう努力した。</li> <li>・出展作家の方々にもイベント終了後引き続き連絡をとり、グループ展や個展のアドバイスをしたり今後も繋がりを持てるよう心掛けた。</li> </ul>
<p>その他</p>	<p>今回初めてイベントの中でワークショップを開催した。内容は子供も大人も楽しめるモールアートの講師を招き、教わった。参加者の方々にも大変好評で、何よりアーティストと参加者が直接触れあって交流を持ち、とても楽しめたことや笑顔がたくさん見られたことが印象的だった。</p>

## 4 活動の成果

冊子、チラシ等別途添付致します。

来場者、ボランティアのご意見

一般会場来場者

- ・作品の雰囲気幅広く、楽しく見ることが出来た。
- ・若手のサポート、ありがたいと思う。
- ・いろいろな作品に会えてよかった。嬉しかった。
- ・多彩な作品があって見ていて面白かった。
- ・どの作品も素敵だった。
- ・エネルギー溢る作品ばかりだった。
- ・もっともっと若手の作家さんを紹介して欲しかった。
- ・完璧で素晴らしかった。これからも続けて欲しい。
- ・広い空間で作品をのびのび見られて良かった。
- ・いろいろな方とコミュニケーションが取れて良かった。
- ・情報発信そして受信の素敵な空間だった。
- ・お目当ての作家だけでなく、たくさんの方々をアートを観られたのが楽しかった。
- ・今後も可能性のある作家さんの作品を展示して下さい。応援してます。
- ・全ておもしろかった。次回も期待してます。
- ・ボランティアとして運営側に回ることが出来て良い経験になった。作家としても参加したい。
- ・様々なジャンル、バックグラウンドを持つ作家さんと交流できる素敵なイベントだった。駆け出しのアーティストも繋がりを作れるいい機会になる場所だと感じた。
- ・ジャンルやキャリアにこだわらず、様々な作家さんが見られて良かった。
- ・たくさん刺激があり、個性豊かな絵があり、楽しかった。

ワークショップ参加者

- ・難しそうだったが、とても楽しかった。またやりたい。家でも挑戦してみます。
- ・子供がとても喜んでいました。
- ・子供も大人も楽しめるイベントで大変よいと思う。アート系のワークショップがあればまた来たい。
- ・先生が楽しかった。夢中になって参加していた。
- ・実際に先生が作る所を近くで見られて良かった。すごかった。
- ・先生の完成品がすごくかわいい。家に並べたい。
- ・初めてだったが集中して作業出来た。先生のグッズも買えれば良かった。
- ・子供たちが満足できた。良い思い出になった。
- ・3歳の息子と参加し、一緒に作った。自由に楽しく作ることが出来てとても楽しかった。
- ・親子、家族のきずなが深まった。ありがとうございます。
- ・いろいろねじったり、からませたり、モンスターを作れて良かった。(お子さんのご意見)
- ・モールのねじる、折る、巻きつけるが楽しかった。(お子さんのご意見)

回収枚数 150 枚

事業開催時の写真を次のページで紹介させていただきます。

名称：ACT ART COM -Art & Desing Fair- 2014

会期：2014年6月17日-6月22日

会場：The Artcomplex Center of Tokyo 全館

主催：NPO 法人 ACT ART COM 実行委員会

出展数：72ブース、作家約110名 / 来場者数：約2,000名

◆ACT ART COM -Art & Desing Fair- (アートフェア) は、第6回目の開催となった。

今回も多くの人々に支えられ、素晴らしいイベントを開催することが出来た。



名称：ACT アート大賞展 2015

会期：2015年1月6日(火)-1月10日(土) 11:00-20:00

授賞式 1月10日(土) 17:00より

会場：The Artcomplex Center of Tokyo 全館

主催：The Artcomplex Center of Tokyo

共催：NPO 法人 ACT ART COM 実行委員会

出展者数：120名、150点 / 来場者数：500名

The Artcomplex Center of Tokyo が主催する S50 号までの平面作品のアート  
アワード。ACT 館内全部屋に 150 点以上を展示、会期中に審査を行い、大賞  
受賞者を選出しました。

